

第11回 アシスト JP1ユーザ会

Select 開催報告レポート

第11回目テーマ

「“改善”へつなげる運用データ活用と現場の声」

JP1ユーザ会Selectは、運用現場で活躍しているさまざまな業種のご担当者にお集まり頂き、JP1の活用方法やさらなる運用の効率化や改善に向けた取り組みについてノウハウの共有や情報交換を行っています。

JP1の3つの管理分野「**ジョブ管理**」「**IT資産配布管理**」「**障害監視・性能管理**」ごとにトラックを分けて開催しました。第10回開催時のアンケート結果より、皆さまの関心が高いテーマを選び、アシスト技術者がセッションを行い、普段の業務やご興味のある課題について技術情報交換をしていただきました。



管理分野別トラック

日時：2017年8月23日(水)

場所：アシスト市ヶ谷本社

ジョブ管理

IT資産配布管理

障害監視・性能管理

- ◆Session1 :
ジョブ作成の標準化と
モニタリングのコツ
- ◆Session2 :
業務改善につなげる運用
データ活用のコツ

- ◆Session1 :
ソフトウェアライセンス
管理のポイントのご紹介
- ◆Session2 :
Windows10、
更新プログラム管理
ポイントのご紹介

- ◆Session1 :
仮想化時代、ITリソースの
最適配置に向けて
- ◆Session2 :
システムの変化に柔軟に
対応する、IT性能管理
手法とは？

資料ダウンロードはコチラ

JP1ユーザ会で発表した技術セッション資料は、JP1ユーザ会Webサイトよりダウンロードしていただけます。その他、**ユーザ事例・技術コラム・会報誌ダウンロード**など各種サービスを提供しておりますので、JP1ユーザ会Webサイトをぜひご覧ください。

▼アシストJP1ユーザ会Web
<https://www.ashisuto.co.jp/jp1user/>

▼セッション資料はコチラから
<https://www.ashisuto.co.jp/jp1user/member/>

※資料ダウンロードにはユーザID/パスワードが必要です。
ご不明な場合はお手数ですがJP1ユーザ会事務局へお問い合わせください。



JP1ユーザ会

検索

トラックの詳細レポートはコチラ

Technical Track ジョブ管理トラック

◆Session1 : ジョブ作成の標準化とモニタリングのコツ

JP1/AJS3ユーザの方向けに、JP1/AJS3によるジョブ作成の標準化とモニタリングのコツについて、アシスト支援の実例や、実機デモを交えてご紹介しました。

<講演資料イメージ>

標準化の統制とモニタリング

ジョブ作成の標準化
(ルールとして守るべきもの)

統制
ルールが破られる要因に統制を掛ける

モニタリング
ジョブ作成の標準化と統制が守られているか確認を行う

詳細設計書
バッチ開発規定

JP1 ジョブ管理 バッチ開発規定

- はじめに
- コーディング
 - バッチの書式
 - ファイル作成の権限権限
 - バッチ自体の権限
 - 実行スケジュール
 - 自動リラン/リバッチ
 - 処理ファイルの浄化
 - 強制停止
 - リターンコード
 - 処理メッセージのログファイル出力
 - ログファイルの監視
 - メッセージコード
- ファイルネーミング
 - バッチアプリケーション
 - 連携ファイル/データディレクトリ
 - ログファイル
- 実行権限
 - 連携権限
 - 実行ユーザID

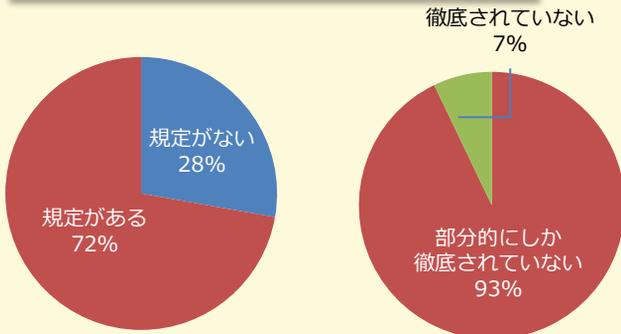
JP1の機能を利用した統制

2. 規定外のパラメータ/ジョブユニット利用の統制
<マニュアル>
JP1 Version 11 JP1/Automatic Job Management System 3 操作ガイド 11.3.7 【詳細定義】タイアログボックスで特定の定義項目の変更を許可しないようにする

・入力/ユニット利用不可による規定内容の統制

※JP1ユーザ/使用端末単位の統制となります

ジョブ作成標準化の規定について



Q.ジョブ作成時の規定はありますか？

Q.規定は徹底されていますか？

◆アンケート/ワークシートのご意見

<標準化の課題>

- ・規定はあるが全ユーザに徹底出来ていない。
- ・ネーミングルール等は用意されているが、開発チームが複数あり徹底出来ていない。
- ・ジョブネットを保守する人員が固定されているため、規定はあるがあまり広く認知されていない。

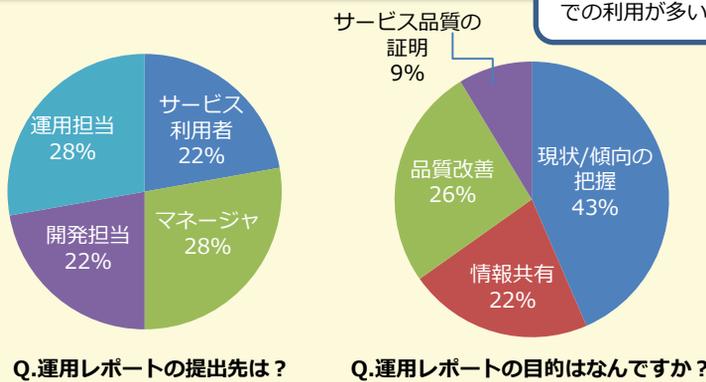
◆Session2 : 業務改善につながる運用データ活用のコツ

ジョブの運用で日々蓄積されるJP1の各種ログやデータを、運用部門が活用し業務改善を進める勘所や考え方についてご紹介しました。

現状の運用データ活用について

顧客やマネージャへの現状報告から、現場改善へつなげる用途での利用が多いようです。

<講演資料イメージ>



Q.運用レポートの提出先は？

Q.運用レポートの目的はなんですか？

運用データ活用の新たな視点

レポート・報告に活かせる「データ活用」とは？

「運用データ」...システムに記録された過去のデータ

出力加工

ジョブ 件数
バッチ・アプリ 時間
HW・OS ステータス
パフォーマンス 推移

ITを取り巻く環境・ITへの期待

運用基盤の変化 システム連携強化 System×Biz

システム単体の可視化・分析一定の効果は得られる

運用データ × 業務視点

IT環境や期待の変化により、運用データ活用の視点を広げる必要がある

分析・レポート・報告 ITサービスの維持・最適化 バッチアプリの品質向上

運用データを「業務やビジネスの視点」で可視化・分析・評価し、より価値あるレポート・報告へ

◆ジョブ管理製品エンハンス

ジョブ管理エンハンス数「全33個」

多数のご意見をいただきました！

- ・ユニットをコピーした時に所有者がjp1adminにリセットされるのが困る。
 - ・単純なジョブ実行だけ出来ればよいので、安価なJP1/AJS3-Agent「ライト版」を作ってほしい。
 - ・ユニットを実行登録をした際、ジョブの開始時刻が登録した時刻を過ぎていた場合に「今すぐ起動しますがよろしいですか？」の注意があるといい。
 - ・JP1イベント送受信ジョブで利用されているイベントIDの一覧画面を提供してほしい。
- 他多数

◆Session1 : ソフトウェアライセンス管理のポイントのご紹介

複雑化が進み、管理の難易度が非常に高まっていると言われるソフトウェアライセンス管理の課題について、SAM (Software Asset Management) と呼ばれるマネージメントシステムの構築の視点を中心にご紹介しました。

<講演資料イメージ>



ソフトウェアライセンス管理の取組み状況

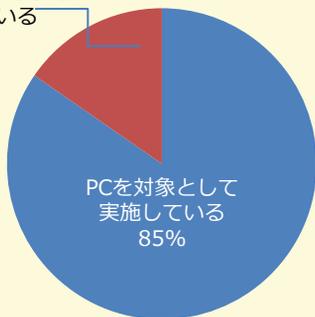
◆アンケート/ワークシートのご意見

<ソフトウェアライセンス管理上の課題>

- ・部門ごとにライセンスを購入、管理しているため無駄が発生している。
- ・業務部門で使用するソフトウェアライセンスまで把握出来ていない。
- ・フリーソフト導入の許容範囲をどうするべきか悩んでいる。

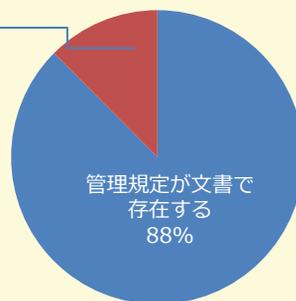
ライセンス管理自体は、多くのユーザ様が取り組んでいるようでした。その上で、管理対象範囲や進め方などを悩まれ、試行錯誤しているという声が多くありました。

サーバも対象として実施している 15%



Q.管理対象機器の範囲は？

管理規定が文書でない 12%

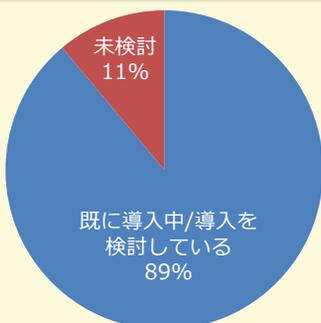


Q.管理規定は文書化されていますか？

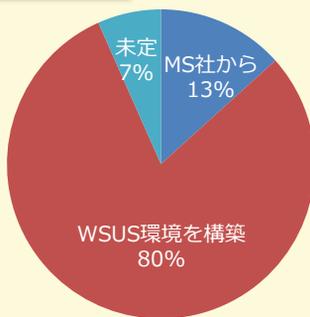
◆Session2 : Windows10、更新プログラム管理ポイントのご紹介

過去のユーザ会でもお客様の関心の高かった「Windows10における展開の課題」について、Microsoft社から公開されている情報や記事を基に、現状の提供サービス、仕様についてご紹介しました。

Windows10の検討状況



Q.Windows10の導入/検討状況は？



Q.機能追加・月例更新アップデートの適用方法は？

◆アンケート/ワークシートのご意見

<Windows10管理上の課題>

- ・機能更新プログラム配信の検証・動作テスト対応。
- ・月一の更新プログラムをWSUS承認後、更新プログラムの容量が大きいためにネットワークが逼迫。今は承認後にWSUSサーバをシャットダウン、夜間にパワーオンさせる運用で対応している。
- ・ユーザインタフェースの制御（デスクトップモード、タブレットモード）手法がまだ確立していない。

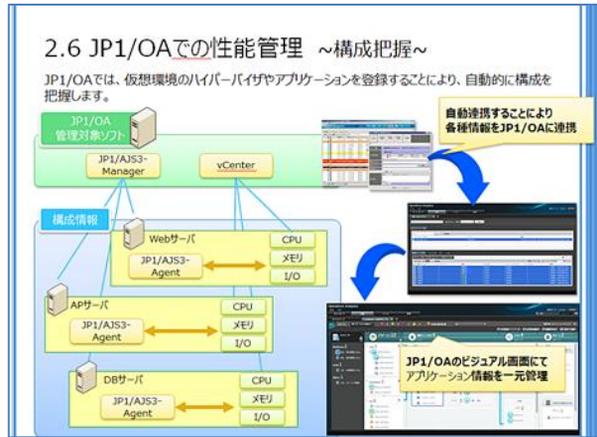
◆IT資産配布管理製品エンハンス

- ・ブラウザアプリの制御機能。ブラウザのソフトがユーザの意図せずインストールされていたため。
- ・Windowsのライセンスの種類を取得出来るようにしたい。プロダクトキーでしか判断が付かないので、他にも判断できる要素があればいい。

◆Session1：仮想化時代、ITリソースの最適配置に向けて

システムの基盤が、物理環境から仮想環境に移行していく中での適切な性能管理とは何か？監視・管理製品で出来ること、また継続して最適な状態にシステムを維持するには、管理者はすべきか？といった提言を行いました。

<講演資料イメージ>



◆Session2：システムの変化に柔軟に対応する、IT性能管理手法とは？

IT環境の変化やデジタル・ビジネスへの転身に伴い、“ITパフォーマンス管理”は今後どのように変化すべきかの提言をしました。

◆アンケート/ワークシートのご意見 参加者の声

- <今後の「性能管理機能」に求めるもの>
- ・実際は使っていないリソースを教えてくれるなど、リソース監視結果からの最適の提案をくれる。
 - ・今後の予測を自動で教えてくれると良い。

◆障害監視・性能管理製品エンハンス

- ・予兆検知の精度を上げてほしい。
- ・AI機能を組み込み、性能管理の将来予測を行い、サイジングの割り当てまで自動で行う機能がほしい。
- ・最終的に、障害オペレーションも自動化してほしい。
- ・改善提案に繋がるように、現行の状態を分析し、ベストプラクティスを提示してくれる機能がほしい。

<講演資料イメージ>



次回JP1ユーザ会Select

「"革新"を生み出す運用現場と基盤づくり」

2017年12月6日(水) 15:30~19:00 (受付開始15:00)

会場：アシスト 市ヶ谷本社予定 主催：アシスト JP1ユーザ会 東日本支部

お申込み：https://mp.ashisuto.jp/public/seminar/view/8251

- ・JP1ユーザ会#11で挙がった要望のまとめ報告(アシスト技術者)
- ・日立製作所様講演
「革新に向けたJP1ロードマップとエンハンス要望に対する方向性(仮)」
- ・ユーザ様事例発表
「現在の課題と2018年度に向けた革新の取り組み」

お申込みはコチラから



JP1ユーザ会

※JP1をご利用中のユーザ様、JP1をご提案されるお客様、JP1をご検討中のお客様が対象です。